



泉南市都市計画マスタープラン
概要版



○都市計画マスタープランについて



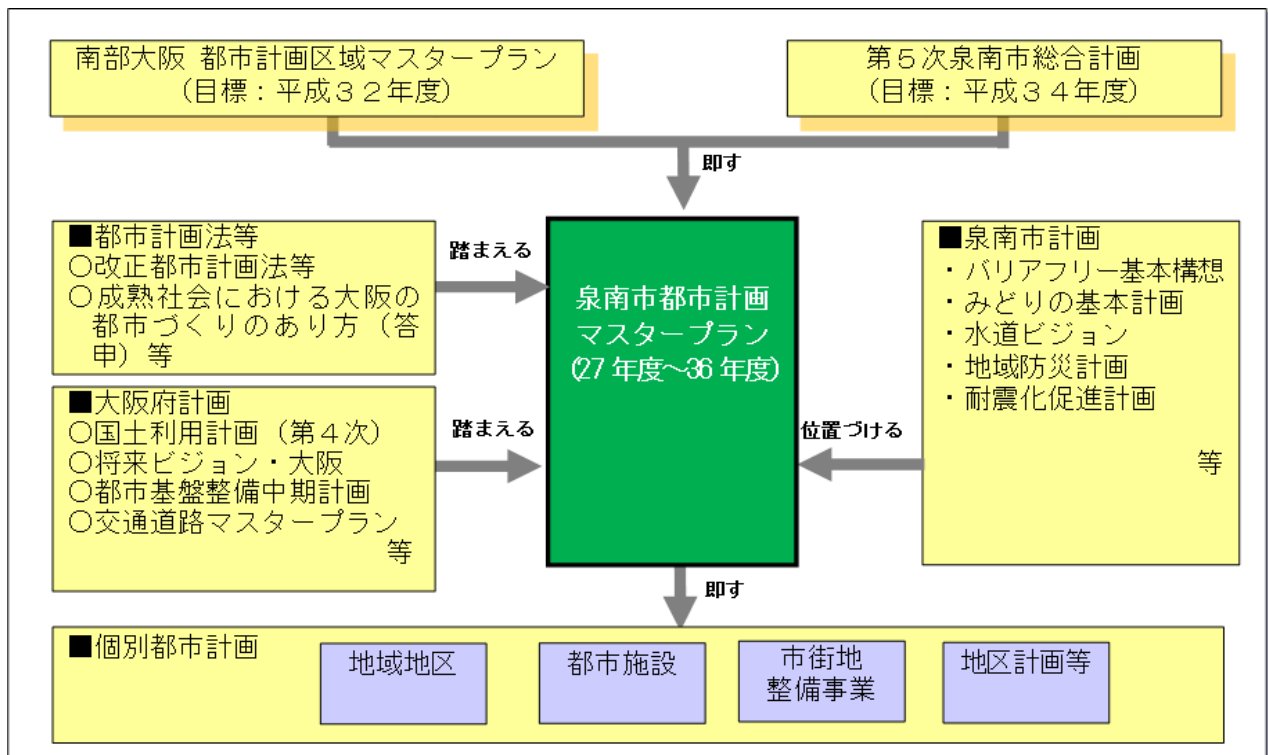
■ 策定の目的

少子高齢・人口減少傾向にある社会の到来、さらには更新時期を迎える公共施設の維持・管理コストの増大など、本市のまちづくりのあり方は大きな転換期を迎えています。また、高度化、多様化する市民ニーズに対応するため、より質の高いまちづくりが求められています。

こうした状況のもと、今後の都市の将来像を明確にし、にぎわいや活力が生まれ、持続的に成長していくため、新たな都市計画マスタープランを市民の参画を得ながら策定するものです。

■ 位置づけ

第5次泉南市総合計画や南部大阪都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（都市計画区域マスタープラン）に即して策定し、本市の具体的な都市計画の決定・変更の指針となるものです。



■ 計画期間

計画期間は、概ね20年後を展望しつつ、平成27年度から平成36年度までの10年とします。計画対象区域は、本市全域を対象とします。

■ 改定の視点

- 1 地域資源を活かした安全で魅力あるまちづくりの推進
- 2 市民意向の反映と地域主体のまちづくりの促進
- 3 重点分野の絞込みや優先順位づけの検討
- 4 第5次泉南市総合計画等との整合

○全体構想 ～市全体の都市づくりの方向～



■ 都市の将来像

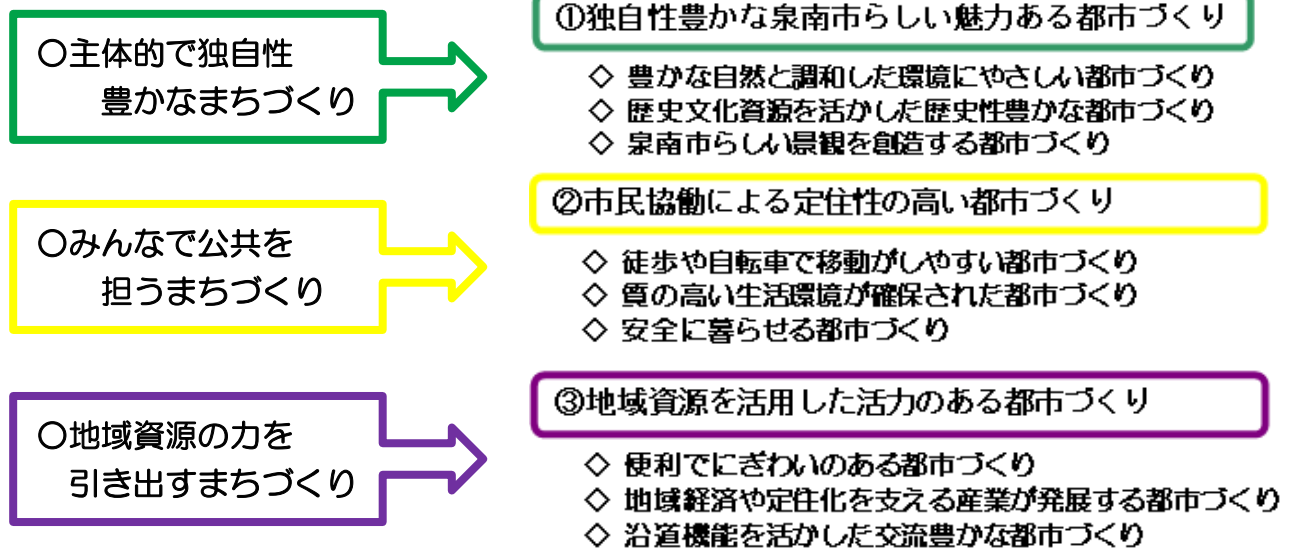
これまでめざしてきた将来像である「水・緑・夢あふれる生活創造都市 泉南」を継承しつつ、人と人とのつながりに一層注力する都市づくりをめざします。

豊かな環境・支えあい、人を大切にする泉南市

～みんなで夢を紡ぐ生活創造都市～

■ 都市づくりの目標

都市の将来像を実現するため、第5次総合計画のまちづくりの視点に基づき、都市づくりの目標を定めます。



■ 将来目標人口

将来目標人口は第5次総合計画に即し、常住人口の将来目標人口を66,000人とします。また、活力ある都市づくりを展開していくため、観光機能の充実などによってさらなる交流人口を生み出していくものとします。

■ 将来都市構造

持続的発展をめざす連携型集約都市構造に

- 核・拠点については、地域の既存ストックなどを活かし、多様な都市機能の集積・強化を図ります。
- 既存の道路や公共交通により、核・拠点を有機的に連携し、一体的に機能する交通ネットワークを形成します。
- 都市近郊の農地を保全・活用し、生産や防災、景観などみどりが有する様々な機能と都市機能との共生を図ります。
- 歴史的資源の保全・活用や水と花とみどりのネットワーク化（「花笑み・泉南プロジェクト」）等により、個性と魅力ある都市環境を形成します。
- 民間投資を重要な手段と位置づけ、民間活力も活かした持続的な都市の活性化を図ります。
- 「コンパクトシティ・プラスネットワーク」の観点から、立地適正化計画の策定を検討します。

将来都市構造図

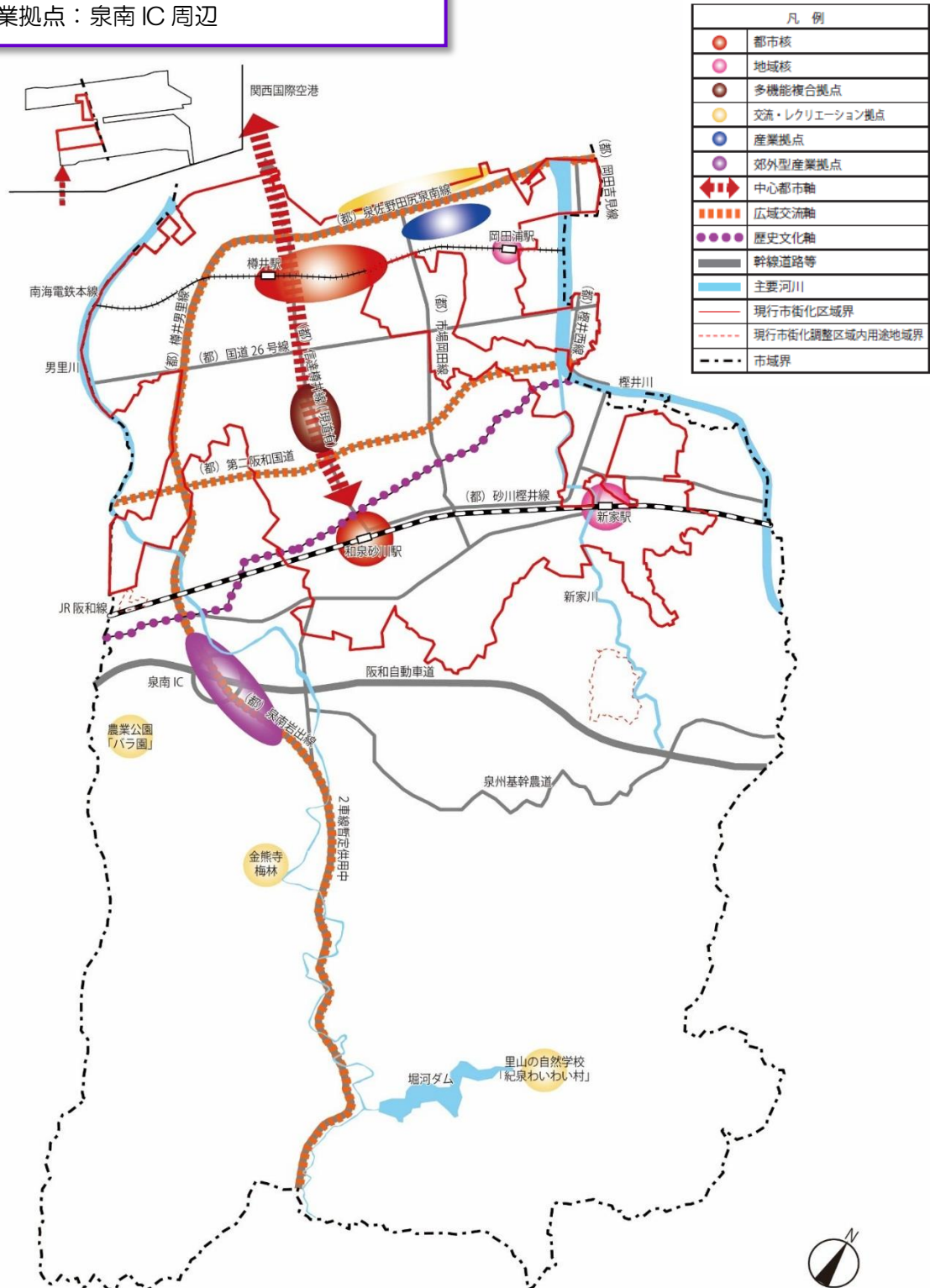


核・拠点

都市核：南海樽井駅及びJR和泉砂川駅周辺
 地域核：南海岡田浦駅及びJR新家駅周辺
 多機能複合拠点：市役所周辺
 交流・レクリエーション拠点：海浜部及び山間部
 産業拠点：りんくうタウン
 郊外型産業拠点：泉南 IC 周辺

軸

中心都市軸：(都) 信達樽井線
 広域交流軸：広域幹線道路
 歴史軸：熊野街道(紀州街道)



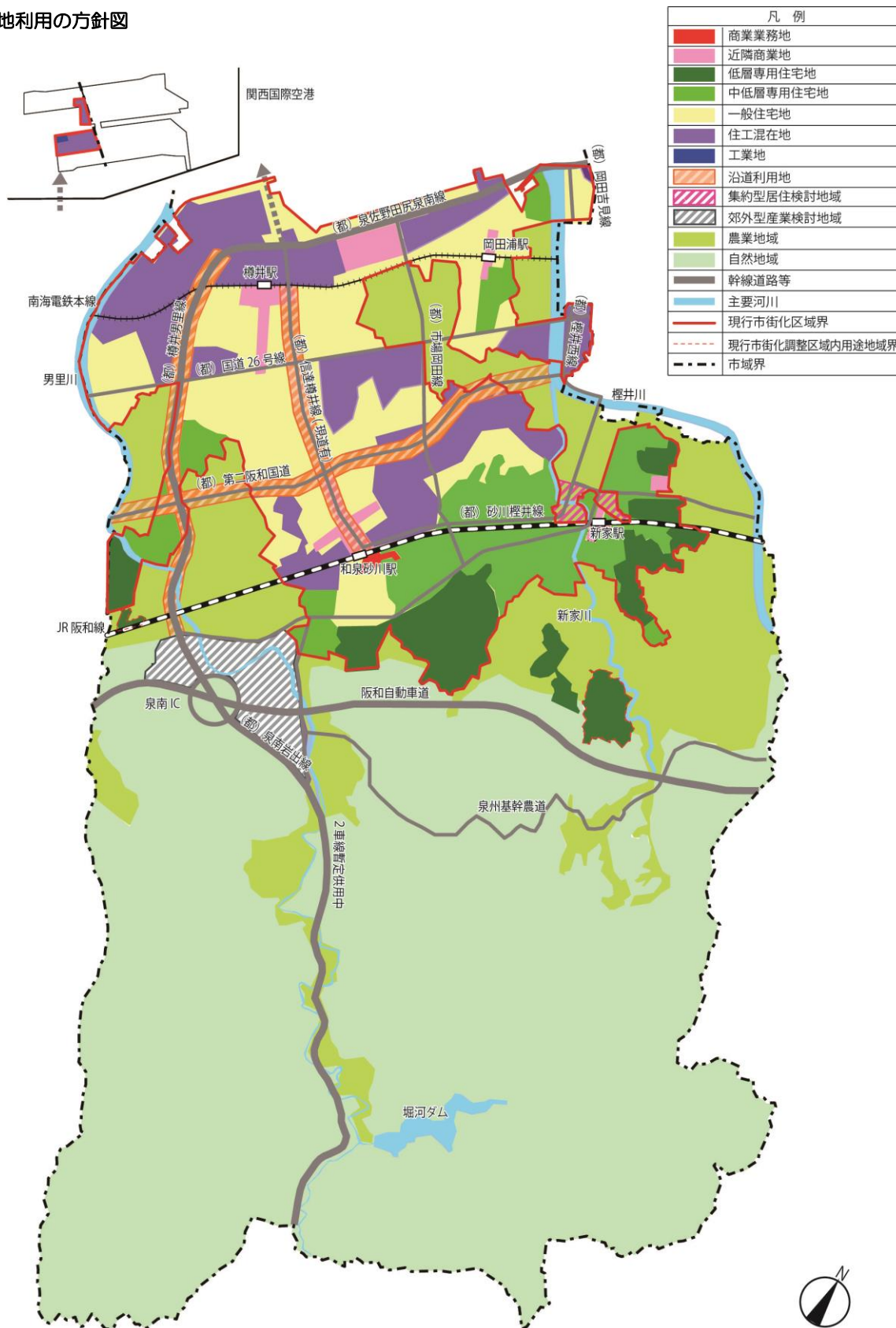
■都市づくりの方針



(1)土地利用の方針

- 無秩序な市街地拡大の抑制
- 市街化区域への編入は、公有水面埋立事業の区域及び鉄道駅への徒歩圏を原則
- 市街地外縁部や広域幹線道路の沿道地域における適正な土地利用の誘導

土地利用の方針図



(2) 道路・交通の方針

◇道路

- ①幹線道路等の充実
- ②安全で快適な道路空間の確保
- ③道路橋の維持管理 ④生活道路の確保
- ⑤基幹農道の整備 ⑥駅前広場等の整備
- ⑦道路の緑化

◇公共交通

- ①バス交通の充実 ②鉄道の充実

◇空港



(3) 公園・緑地の方針

- ①みどりの基本計画の改定
- ②公園緑地の整備・充実
- ③公園等の適切な維持・管理
- ④レクリエーション施設等の充実
- ⑤親水空間の確保
- ⑥水・花・みどりのネットワークの形成
- ⑦緑化の推進 ⑧地域制緑地の保全



(4) 上下水道・河川の方針

◇上水道

- ①上水道の統合 ②適切な管理

◇下水道

- ①汚水施設の整備
- ②雨水施設の整備
- ③適切な維持管理
- ④処理場の整備



◇河川

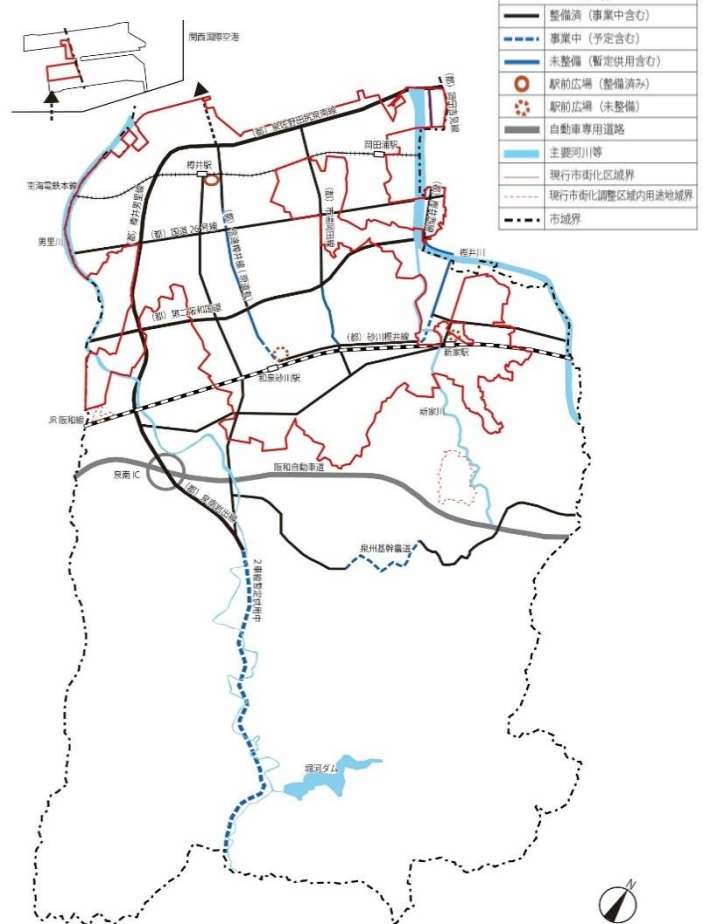
- ①治水対策 ②流出抑制対策
- ③河川環境の改善と意識の高揚
- ④ため池の改修

(5) その他公共施設の方針

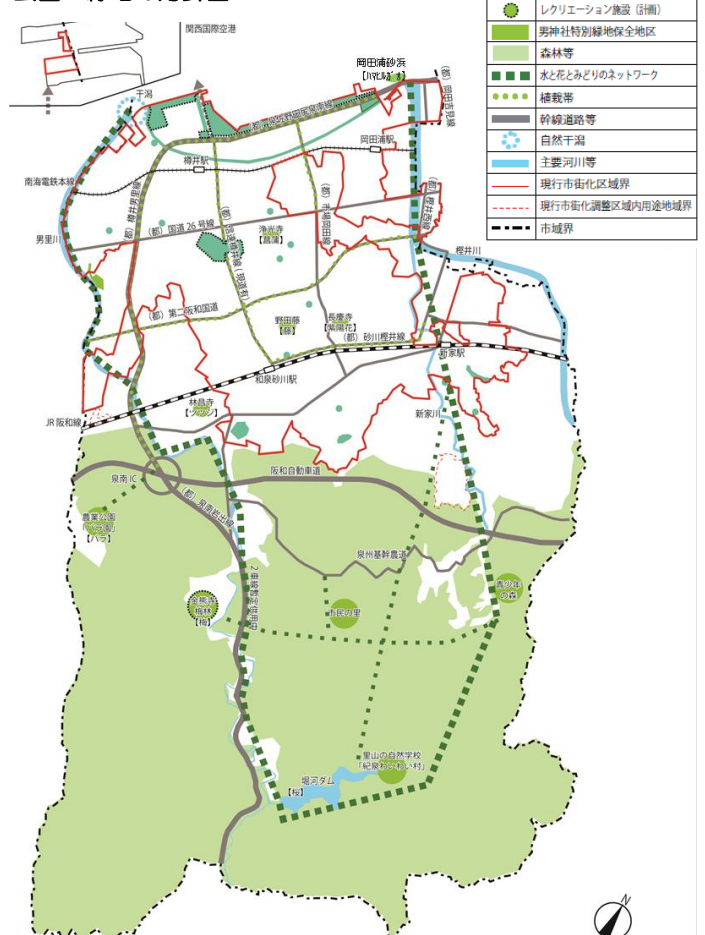
- ①ごみ処理施設
- ②汚物処理施設 ③火葬場
- ④コミュニティ施設
- ⑤文化施設・福祉施設等 ⑥教育施設



道路・交通の方針図



公園・緑地の方針図



(6) 都市防災の方針

- ① 防災意識の高揚
- ② 避難機能の強化
- ③ 災害に強い
都市づくり
- ④ 復興都市づくり



(7) 市街地・住宅地の方針

◇市街地

- ① 都市核の形成
- ② 地域核の形成
- ③ 多機能複合拠点の形成
- ④ 産業拠点の形成
- ⑤ 郊外型産業拠点の形成
- ⑥ 良好な沿道市街地の誘導
- ⑦ 遊休公的不動産の有効活用

◇住宅地

- ① 重点供給地域における住宅供給の促進
- ② 計画的住宅団地の再生
- ③ 良好な住環境の確保
- ④ 市営住宅の効率的な運用
- ⑤ 環境にやさしい住宅の普及
- ⑥ 市街化調整区域における適正な土地利用の誘導

(8) 地域環境の形成方針

◇自然環境

- ① 森林の保全と活用
- ② 農空間の維持と活用
- ③ 生物多様性の確保

◇環境保全

- ① 地球温暖化対策
- ② ヒートアイランド対策
- ③ 環境保全対策

◇地域資源

- ① 観光レクリエーションの充実
- ② 観光資源のネットワーク化

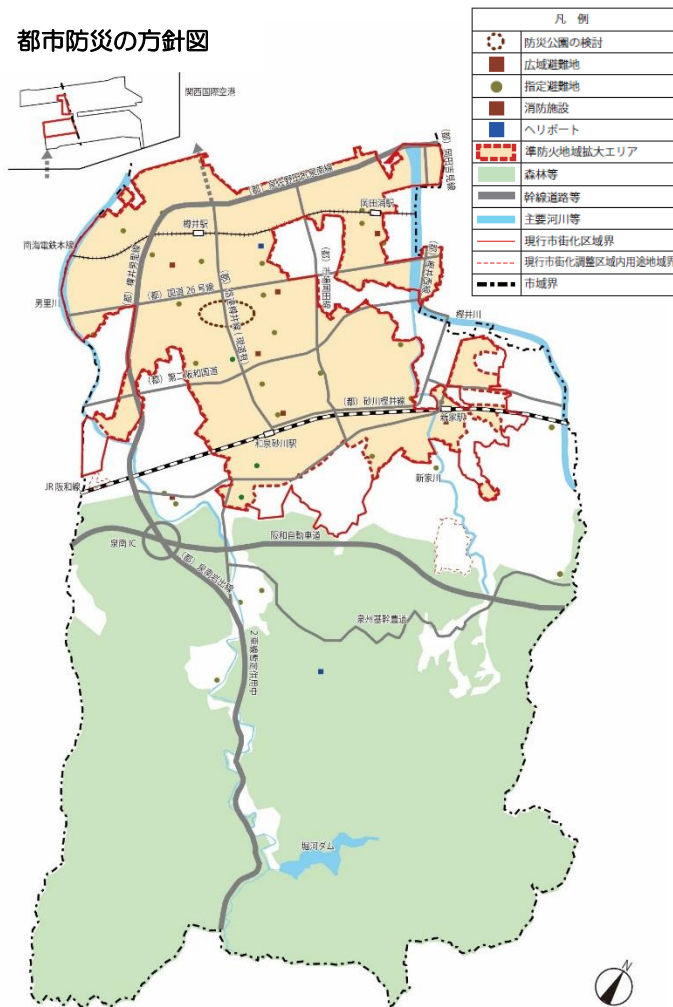


(9) 都市景観の形成方針

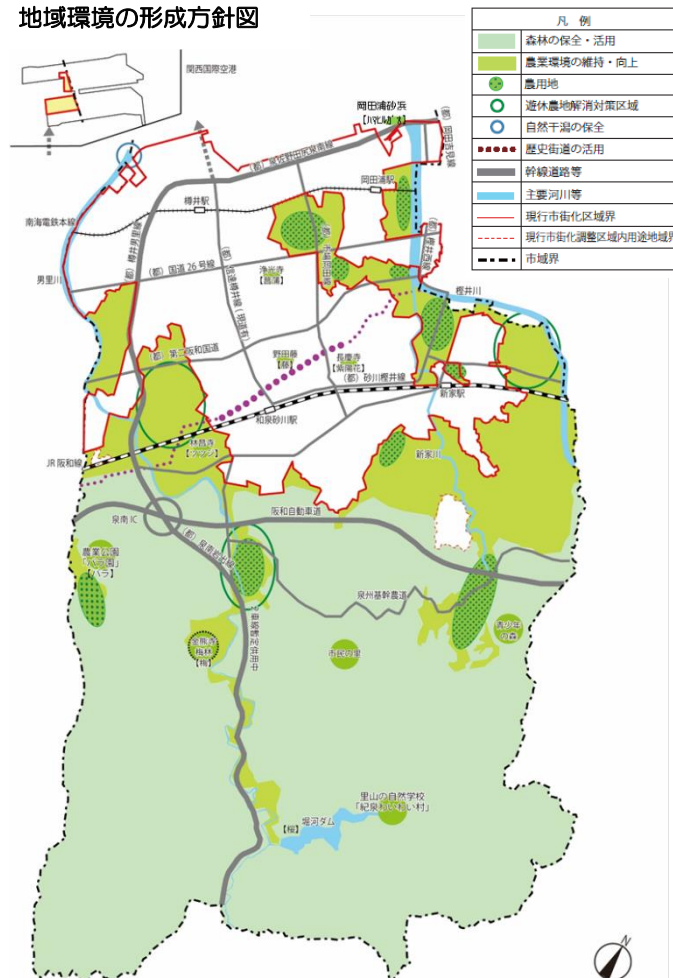
- ① 景観計画の策定
- ② 山並み景観の保全
- ③ 河川・ため池景観の保全・創出
- ④ 湾岸部景観の保全・創出
- ⑤ 歴史景観の保全・創出
- ⑥ まちなみ景観の保全・創出
- ⑦ 沿道景観の形成
- ⑧ 屋外広告物の規制・誘導



都市防災の方針図



地域環境の形成方針図



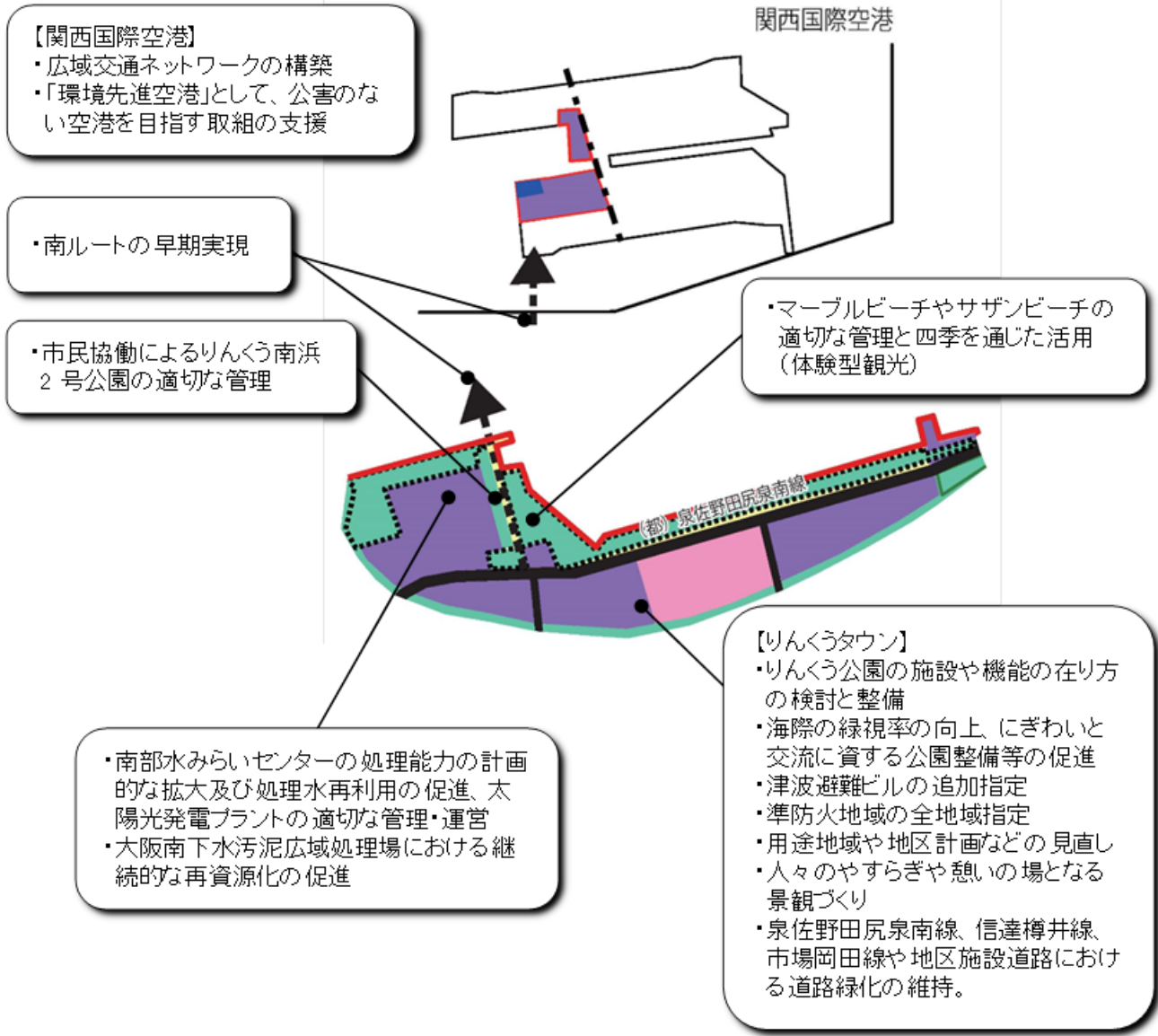
○地域別構想 ～地域のまちづくりの方向～



■ 関空・りんくう地域 —にぎわいのある美しい海辺のまち—

～地域づくりの目標～

- ①四季を通じてにぎわう観光・レクリエーション拠点を形成する。
- ②安全で活力のあるりんくうタウンを形成する。
- ③世界をつなぐ空の玄関口、関西国際空港の機能強化を促進する。



【地域全体に関する取組】

- ・下水道施設の長寿命化
- ・道路、公園、下水道などの必要な整備や耐震化
- ・空の玄関口にふさわしい魅力ある景観の創出



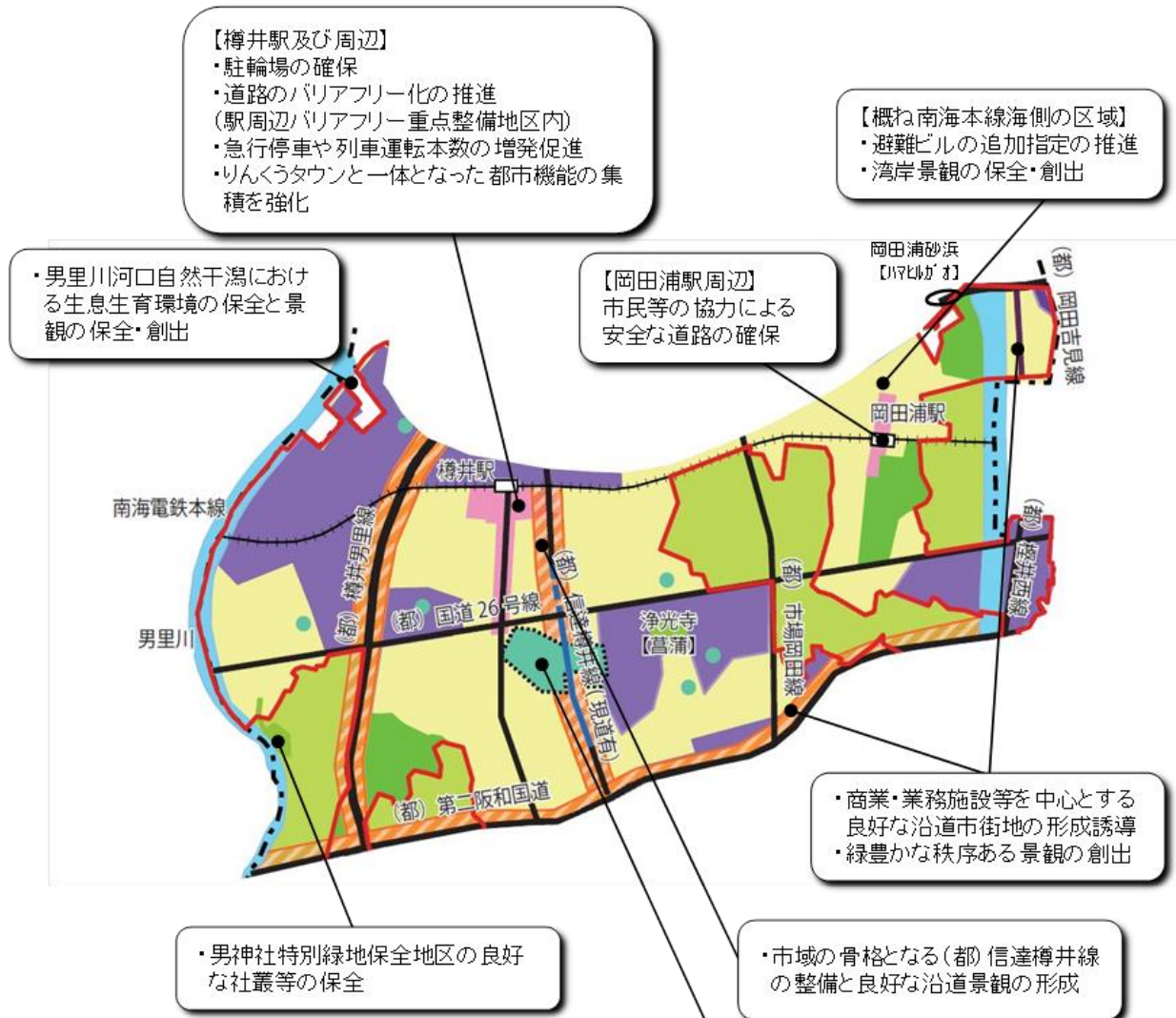
凡例

	近隣商業地
	一般住宅地
	住工混在地
	工業地
	都市公園整備済
★	都市公園未整備
	整備済（事業中含む）
	現行市街化区域界
	市域界



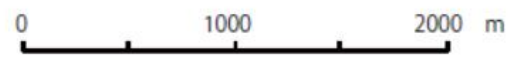
～地域づくりの目標～

- ① 鉄道駅周辺のにぎわいづくりや市役所周辺の機能を高める。
- ② 便利で快適な移動空間を確保する。
- ③ 地域資源を活用し、水とみどり豊かな地域環境をつくる。



- 【地域全体に関する取組】
- ・道路、公園、下水道などの必要な整備や耐震化の推進
 - ・通学路における交通安全施設等の整備推進
 - ・橋梁の長寿命化や狭い道路の拡幅
 - ・公共交通を利用しやすい環境の整備
 - ・水・花・みどりのネットワークの形成や観光ルートの検討
 - ・市街地農地等における適切な管理と生産緑地の追加指定
 - ・公共下水道整備と水洗化の促進、下水道計画区域外における合併浄化槽への設置替えの促進
 - ・下水道施設の適切な管理と長寿命化
 - ・生物多様性への配慮や市民協働による河川の管理等
 - ・水防ため池の耐震検討と計画的改修等
 - ・市役所等公共施設やコミュニティ施設の耐震改修やバリアフリー化等の推進
 - ・地区計画等によるきめ細かなまちづくりの促進
 - ・災害時における防災農地等の活用
 - ・準防火地域の指定拡大など不燃化の促進
 - ・木造建築物等の多い地区におけるオープンスペース確保

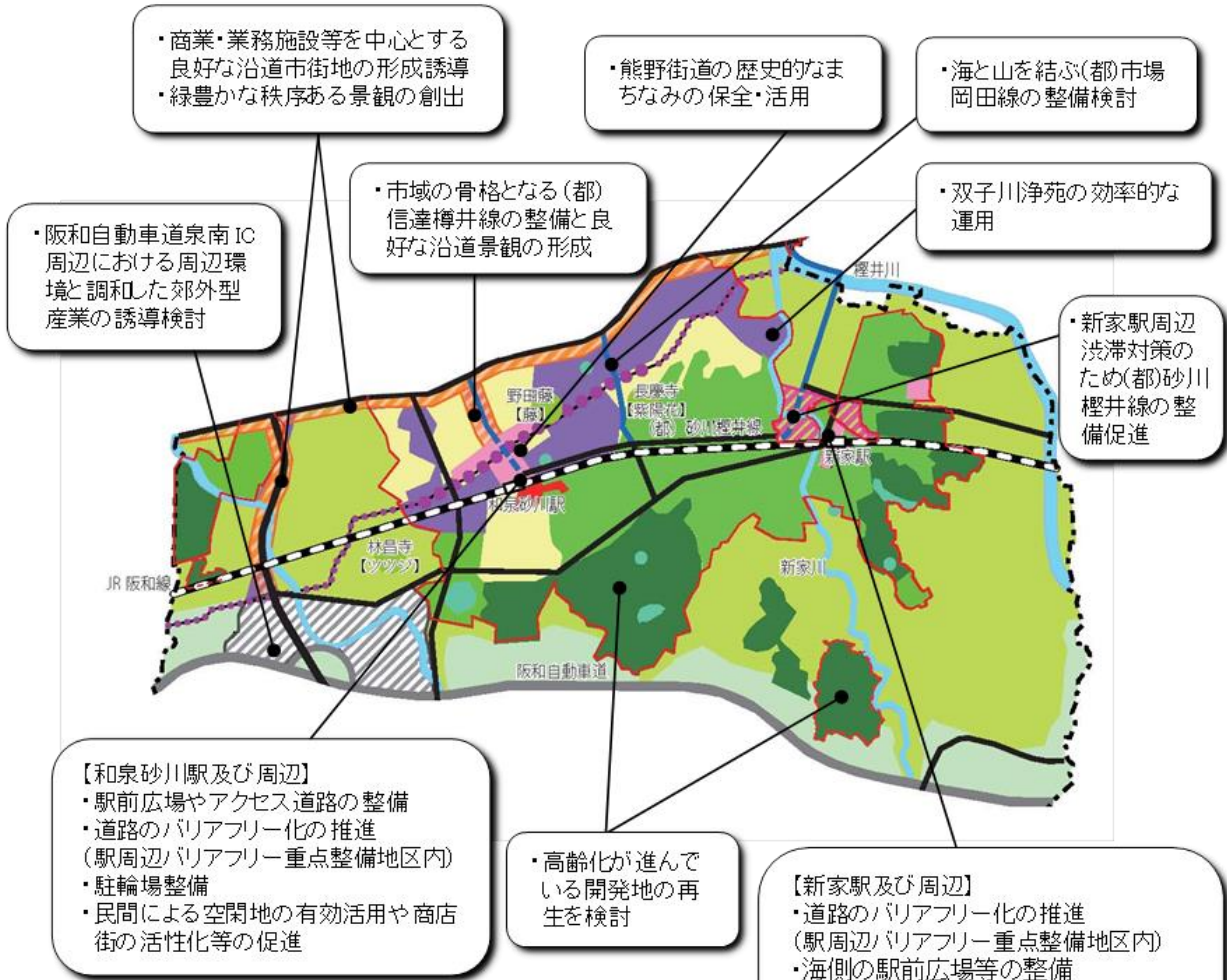
	近隣商業地		男神社特別緑地保全地区
	中低層専用住宅地		整備済(事業中含む)
	一般住宅地		事業中(予定含む)
	住工混在地		未整備(暫定供用含む)
	沿道利用地		主要河川
	農業地域		現行市街化区域界
	都市公園整備済		市域界
	都市公園未整備		



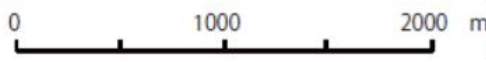


～地域づくりの目標～

- ①地域の顔となる鉄道駅周辺を整える。
- ②利便性の高い良好な住環境の確保や新たな産業拠点を形成する。
- ③地域資源を活用し歴史文化を基軸とした地域環境をつくる。



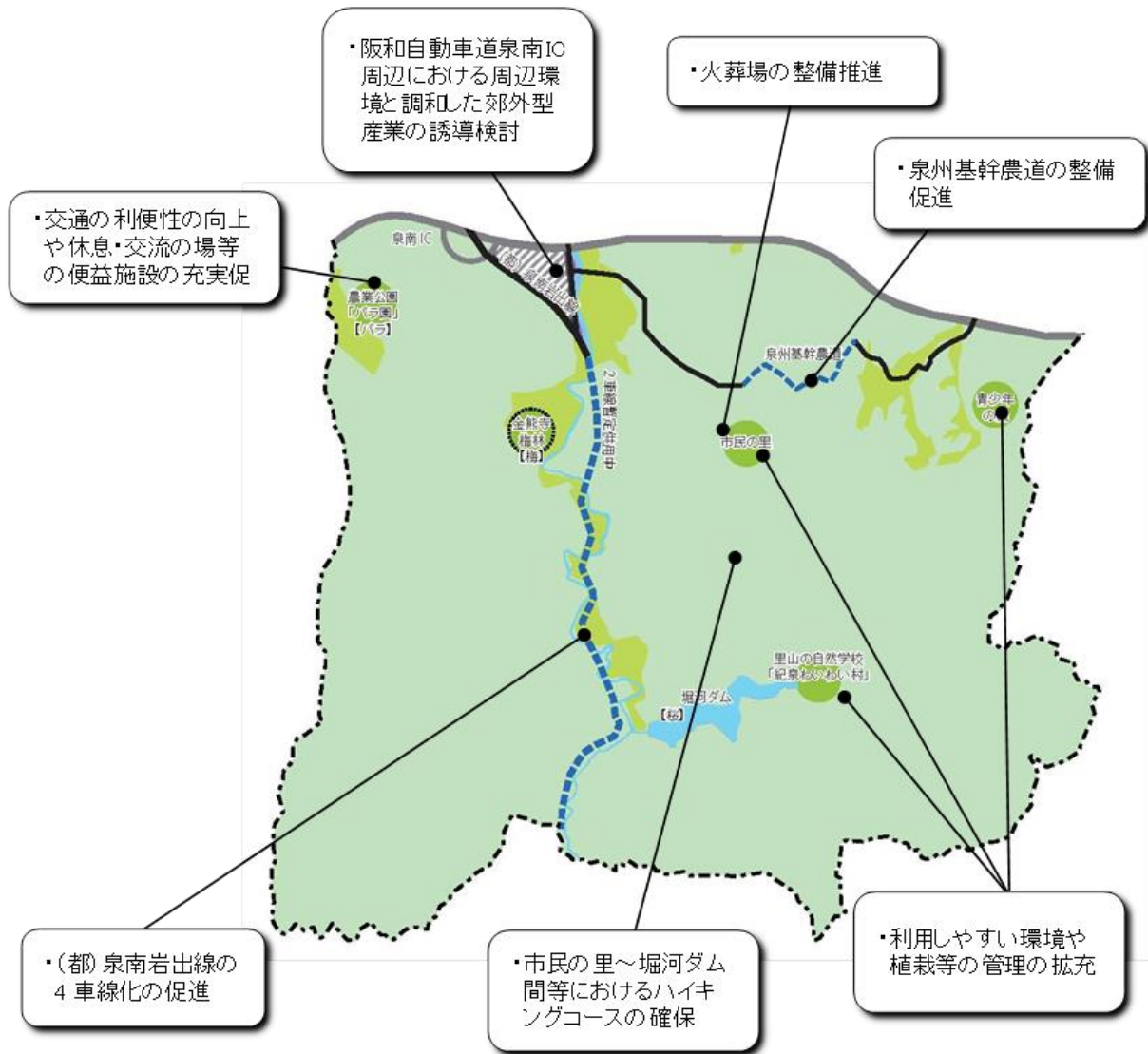
- 【地域全体に関する取組】
- ・道路、公園、下水道などの必要な整備や耐震化の推進
 - ・通学路における交通安全施設等の整備推進
 - ・市民協働による道路管理の充実
 - ・橋梁の長寿命化や狭い道路の拡幅
 - ・公共交通を利用しやすい環境の整備
 - ・市街地農地等における適切な管理と生産緑地の追加指定
 - ・農業生産の向上と遊休農地の再生・活用
 - ・公共下水道の効率的な整備、下水道計画区域外における合併浄化槽への設置替えの促進
 - ・下水道施設の適切な管理と長寿命化
 - ・生物多様性への配慮や市民協働による河川の管理等
 - ・水防ため池の耐震検討と計画的改修等
 - ・地区計画等によるきめ細かなまちづくりの促進
 - ・開発された一団の低層住宅地における良好な居住環境の維持やまち再生の検討
 - ・災害時における防災農地等の活用
 - ・準防火地域の指定拡大など不燃化の促進
 - ・熊野街道や花の名所を活かした観光レートの整備
 - ・和泉葛城山系の山並み景観の保全





～地域づくりの目標～

- ①豊かな自然環境を活かした観光・レクリエーション機能を高める。
- ②森林の保全や農業の振興等により和泉葛城山系の自然景観を守り育てる。
- ③道路ネットワークの強化や地域の活性化を図る。



【地域全体に関する取組】

- ・集落の活性化や農林業振興施設の適正な誘導
- ・公共施設を支援・補完する施設の適正な誘導
- ・通学路における交通安全施設等の整備推進
- ・橋梁の長寿命化や狭い道路の拡幅
- ・農業生産の向上と遊休農地の再生・活用
- ・合併浄化槽への設置替えの促進
- ・生物多様性に配慮した河川の管理等
- ・土砂災害警戒区域の指定検討
- ・地区計画等によるきめ細かなまちづくりの促進
- ・体験型の観光・レクリエーション機能の充実
- ・花の名所を活かした観光ルートを整備
- ・多様な主体の参加による協働の森づくり
- ・和泉葛城山系の自然環境や山並み景観の保全



○実現化方策 ～計画の実現に向けた方策～



市民と行政による協働の取組により、都市計画マスタープランの実現化をめざします。

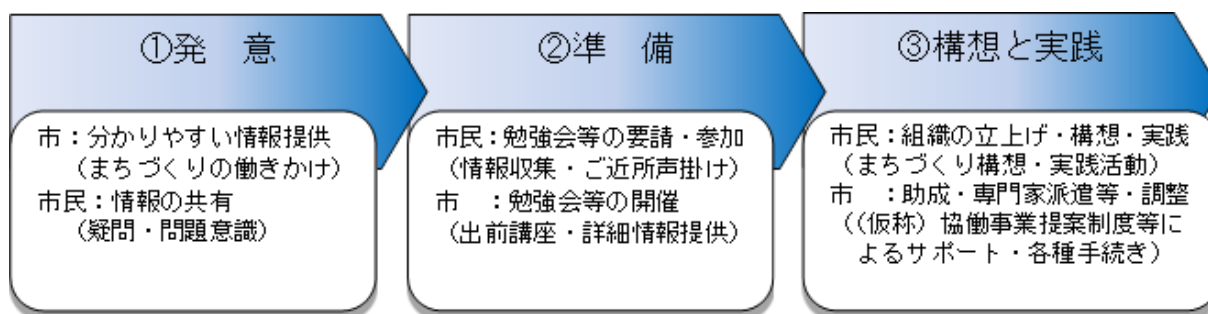
■ まちづくりの実現に向けた基本的な方針

- 市民協働のまちづくりを推進します。
- 行政における連携のとれた創意工夫のある事業展開を図ります。
- まちづくり財源の確保に努めます。



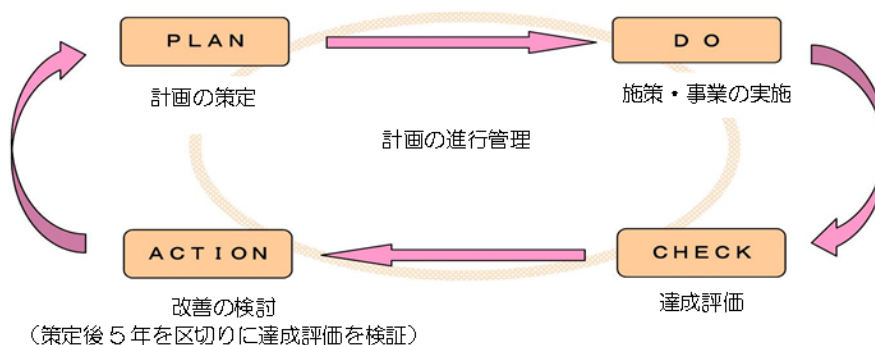
■ 協働のまちづくりの推進

- まちづくりとまち育てを推進します。
- 協働のまちづくりの仕組みづくりを進め、市民主体のまちづくりを支援します。



■ 都市計画マスタープランの進行管理と柔軟な見直し

- 概ね 5 年後を区切りに、PDCA サイクルにおける達成評価の検証を行い、その後の施策・事業展開に市民の意見を反映していくものとします。
- 今後の社会情勢の変化に柔軟に対応するとともに、都市計画に関する各種制度に大きな変更があった場合には、都市計画マスタープランを適切に見直し、より望ましい姿へと進化させていくものとします。



泉南市都市計画マスタープラン 概要版 (平成 27 年 7 月)
 泉南市 都市整備部 都市計画課
 泉南市樽井一丁目 1 番 1 号 電話(072)483-9973 FAX(072)485-1972
 E-mail : tokei@city.sennan.lg.jp ホームページ : http://www.city.sennan.osaka.jp